



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済：トルコにおけるイラン人の銀行口座の閉鎖 (17日付シャルグ紙)

17日付シャルグ紙は、トルコの新聞を引用しつつ、トルコの銀行による在トルコ・イラン人の口座閉鎖措置に関し報じている。

1. トルコの新聞によると、トルコの一部銀行が、イラン人顧客に対して、4月17日までに口座を閉鎖するよう求め、口座を閉じない場合には預金を接收すると通知した。本件は、米国・EUによる制裁への同調を目的とするトルコ銀行規制・業務調整機関の措置によって生じたものと見られる。
2. トルコで就学中の同国在住10年のイラン人は、自身の口座を閉じ、Yapi Kredi銀行に預金していた1万5,000米ドルを引き出し、他の銀行に移すことを余儀なくされた。同人は、「彼ら（銀行）は、まるで全てのイラン人が自宅でウラン濃縮を行っているかのように振る舞った。自分は、自身で得た金銭をトルコの銀行に預けていた一般の市民である」と述べ、提訴を求めている。
3. Yapi Kredi銀行のイスタンブル・ガラタサライ地区支店の責任者の一人は、「トルコ銀行規制・業務調整機関は銀行に対し、制裁対象となっている国の国民に対するサービス提供を控えるよう求めた」と述べた。
4. Finance Bank、Vakifbank、Halk Bankの責任者は、本件に関わる通達の発出を承知していないと述べた。トルコ銀行規制・業務調整機関は、本件に関する通達の発出を否定した。
5. 上述のイラン人は、Garanti Bankも、イラン人およびシリア人顧客に対して、口座閉鎖を求めたと語った。